



学校・地域の絆で育てる朝東っ子



～ 学校で学び 家庭でしつけ 地域ではぐくむ 朝日東小の子 ～

～ 未来を拓く力の育成 朝東っ子 誉あれ ～

校長 春川 嘉孝

年度の折り返しを迎えます。10月は秋が深まり、衣替え、スポーツの日、読書週間など、気候が落ち着き過ごしやすい時期です。朝東っ子、夏休みが明けて元気に生活してきた9月。学習にもスムーズに取り組む姿がありましたが、もう少し気持ちを落ち着かせて生活できると「ケガのない生活」ができたのに。と感じます。今月は、6年生の修学旅行、朝東っ子コンサートなどの行事があります。心を落ち着かせることで、周りの状況が見えてきます。自分の本当の考えや思いが浮かんできます。それが行動につながります。「息をゆっくりお腹を膨らませながら4秒間吸い、少しとめて、ゆっくりお腹をへこませながら8秒間で息を吐く」心を落ち着かせる、自律神経を整えるときによく行われる方法です。落ち着いた季節、環境の中で、自分自身もしっかり、心落ち着かせながら、真の楽しみを味わわせていきたいと思っています。

さて、保護者・地域の皆さんで植えた「稲」。夏休みに出穂し、背丈はぐんぐん伸び「実るほど頭を垂れる稲穂かな」にあるようにしっかり生長してくれました。これまで、学校の近くを通る地域の方々にも「お米どうなっていますか?」「楽しみです」など、あたたかい言葉を聞くことができました。地域の中にある学校が、地域の方々にとって、興味をもってもらえる学校になることはとてもよいことだと感じます。そして、多くの方々が、朝日東小学校に関心をもっていただけることで、児童はより安心して生活できるものと考えます。皆さんで、大事に育ててきた「苗」は、8月下旬から9月にかけての長雨や風の影響でかなり倒れてしまいましたが、黄金の色を付けています。いよいよ、収穫。

10月2日(金) 9時～ 朝日東小学校中庭 で稲刈りをします。

多くの方にご参加、ご参観いただき、児童の様子をご覧いただけたらと思います。中庭には、すでに手作りの「稲架掛け」を設置し、刈り取った稲を干していきます。10月、収穫の秋の風景、朝日東小の新しい原風景を楽しんでいただければ幸いです。

二学期、体育委員会による「すくすくチャレンジ」は継続しています。そして、朝日環境センターを見学した児童から「私達も牛乳パックをリサイクルできないかな」という声があり、4年生で現在実施中です。そして、教職員からは、それぞれの学年の子供たちに読んでもらいたい本（物語や小説など）を、その学年の担任が選書して、学校図書館にコーナーをつくるという取組も進行中です。

自分の学校をよりよくしたい、前向きな発想から出るアイデアは、きっと、朝東っ子の心も体も豊かにしてくれるものだと確信しています。

【環境委員会】

？環境委員会はどのような活動をしていますか？

○ウーパールーパーやチャボ、ザリガニなどの動物や植物の世話をしています。

？環境委員会の活動を通して、なってほしい朝東っ子の姿はありますか？

○動物や植物、そして友達（人）にもやさしい朝東っ子になってほしい。

地球の自然を大切にできる朝東っ子になってほしい。

？今後環境委員会として、取り組んでいきたいことはありますか

○校庭の石や、校庭に落ちている枝などを拾っていききたい。

校舎内のごみ拾い活動をしていきたい。

委員会の時間を活用して、公園などのごみ拾い活動をしてみたい。

☆「環境を守る」第一歩は、身近な場所の様子に気づくこと、そして、実践すること。その一つに、日頃自分達が遊んでいる地域の公園に目を向けているのがうれしいですね。

☆「朝東っ子スマイルタイム（児童集会）」では、学校に植えてある「ヒマワリ」、学校農園の「朝東田」を全校にクイズを作りながら紹介していました。発表をする上で「朝日東小学校の景色」を全校に知らせながら、好きになってほしいという思いを伝えたかったと話してくれました。